

# 第1期 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 事業報告書 (令和2年6月3日-令和2年7月31日)

当法人は、令和2年6月3日から公益財団法人として活動をしており、当期は、ソーシャル・ミッションの実現の為、下記のとおり公益事業活動を実施した。

## 理念

ミッション ---地域起業家をつくる

地域起業家が人気業種となり、地方創生事業が各地域で成功している。

ビジョン ---地方創生ベンチャーがITベンチャーと同様主流となる。

地域が社会課題と言われたことが、昔の話と言われる。

日本が、起業後進国から起業先進国へ仲間入りする。

バリュー ---地域起業家のプロデューサーとなる

地方創生事業にチャレンジする地域起業家の発掘、育成、発表、起業をトータルサポートする。

## KPI(2030年)

- ・地方創生事業モデルを100地域で、JAPAN CHALLENGER AWARD (SEMINAR)を開催する。
- ・地域起業家から10社新規上場企業に導く。
- ・大学、高校、中学校に「起業体験プログラム」を1000校に導入する。

上記、KPIに向けて、以下の活動を通じて進めてきた。いわゆる公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトの活動では、「地域で起業に挑戦する地方創生チャレンジャーの発掘、育成、発表、起業をトータルサポートしている。また、地域起業家向けに「JAPAN CHALLENGER AWARD」を運営し、ビジネスアイデアをビジネスモデルまで構築する実践型の東京証券取引所と連携したJPX起業体験プログラムを展開している。

対象者は、地域起業家、そして地方創生事業に関わるステークホルダー並びに地域の地元高校生などワカモノである。

また当団体の体制は、公益事業として、経営、金融、IT、観光など各専門のプロを理事として組成しており、実行部員は、これからの主役である「ワカモノ」で活動している。

## I. 普及啓発事業(公益事業1)

### (1) 地方創生の普及及啓発を行う事業

#### 1) 趣旨

現在の日本は、社会課題先進国と言われて久しく、人口減少、少子化、高齢化、地方の過疎化、自治体の財政難などが深刻化しており、主に以下の2点の課題がある。

- ・現状のような社会課題により、わが国では将来ビジョンが描きづらいこと
- ・学校教育において「事業」や「起業」、「仕事」に対しての学びの場が著しく少ないこと

上記課題の解決策として、次の3つの段階が必要だと考える。

- ・ビジョンを持つこと
- ・そのビジョンを基に、実現のためのグランドデザインを描くこと
- ・起業家を、サポート、マネジメント、プロデュースする体制があること

当法人は、このような背景に鑑みて、社会の活性化を図るには、地域の活性化が重要であると考え、改めて各地方の現状を検討した。現在の地方には地産地消に加えて、観光、ビジネス等の地産地商の原石がある。その原石である地域の起業家(当法人では「チャレンジャー」と呼ぶ。)が力を発揮し、描いた事業で地方を活性化してゆくために、当法人は「彼らをいかに磨き上げるか」が重要であると考え、そこで、上記解決策を念頭に、チャレンジャーに経営の「ミッション・ビジョン・戦略」を学んでもらい、彼らが見出したビジネスプランを起業する地域の人々に発表し、「共感・賛同・協力」を得られるような事業に育ててゆく。当法人は、このようなトータルな体制「発掘」「育成」「発表」「事業」を構築して地方創生に取り組むことが社会を豊かにすると考え実施してきた。

## 2) 事業の内容

現在の経済活動では、社会課題に取り組む事業と、顧客に感動や驚きの体験を与える事業が必要とされている。そこで、当法人では、社会課題解決事業と感動創造事業を融合した新しい事業アイデアを構築し、公民連携による地方創生事業に取り組む。

これまでも多くの起業家たちが、自分の事業モデルと目の前にある「問題」を結び付けてチャレンジをしてきたが、当法人では、起業家たちが挑戦できる環境を作り、育成、サポートすることで、「経済活性化」と「地域課題解決」を両立させ、持続可能な社会を作り出すことに寄与できると考える。

また、地域におけるプロジェクトの立案、計画、実施等を支援するために、そのプロジェクトメンバーの能力開発のためのセミナーを開催し、できる限り事業に関与するサポートを行う。本事業は、国、地方自治体や各種団体からの委託も受けることとする。

### 1. セミナー事業

セミナーは、対象を一般向けと、「JAPAN CHALLENGER AWARD」のチャレンジャー向けとに分けて開催する。募集は、ホームページやチラシで広く公募し、セミナーは、ローカルビジネスについて、起業するためのミッション、ビジョン、戦略立案などに関する内容で開催する。講師は各界の専門家で構成した。

#### ① 一般向けセミナー

地域起業家や地域住民、またその地域で起業したい方々向けに、自治体での広報活動、地元商工会議所の既存プログラムと連携しながら、「起業に向けたビジネスモデルの構築の仕方」「事業予算・事業計画の立て方、企画書の書き方」「収益モデル」の勉強会を行った。

主任講師に代表理事が行い、ゲスト講師として理事や JAPAN CHALLENGER レジェンド(地域起業家)を招いて開催した。

開催数は20回、のべ参加人数はのべ258名となった。詳細は以下の通り。

#### 「いざ鎌倉！地方創生の祭典～JAPAN CHALLENGER AWARD2020～」(準備)

2期目にあたる10月6日に開催される「いざ鎌倉！JAPAN CHALLENGER AWARD 2020」の準備に注力してきました。コロナ禍における感染予防や各省庁への後援申請、協賛企業への営業活動、さらにチャレンジャーへのサポートを行ってきた。当事業の概要は以下です。

#### ■趣旨

地域の魅力化や課題をビジネスで解決する「ビジネスアイデア」を持った起業家たちと、その事業を応援したい地元企業とのマッチングを行うビジネスコンテスト型のイベントです。「ジャパンチャレンジャー」と呼ばれる挑戦者たちが、自らのビジネスプランを審査員やイベント参加者の前で発表し、グランプリを目指します。また、ジャパンチャレンジャーのプランを聞き、関心をもったサポート企業からは、出資や事業提携などのオファーがくることもあります。地域起業家を応援することはもちろん、さらには彼らジャパンチャレンジャーの熱い想いを聞いた参加者のみなさんが「地域を元気にしたい」

という意識を持ち、地方創生のムーブメントを起こすことを目指しています。今まで、伊豆や銚子など様々な地域で開催しています。

■日時:2020年10月6日(火)10:00~17:00

■会場:建長寺(神奈川県鎌倉市山ノ内8)

■コンテンツスケジュール

①10:00-12:00 パネルディスカッション『得月楼』

②12:00-12:45 昼食『得月楼』

③12:45-13:00 武田双雲氏の書道面白パフォーマンス『唐門』

③13:00-15:35 いざ鎌倉！地方創生の祭典！JAPAN CHALLENGER AWARD 2020『方丈』

④15:50-17:00 結果発表『法堂』※17:15までにはご退場願います。

■参加費:〈一般〉セミナー・昼食:3000円、アワード:2000円(テキスト付)

〈学生〉セミナー・昼食:2000円、アワード:1000円(テキスト付)

■主催:公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

■後援:内閣府地方創生推進事務局/経済産業省関東経済産業局/農林水産省/総務省/観光庁/神奈川県/鎌倉市/日本取引所グループ

■サポーター:レオスキャピタルワークス株式会社、株式会社面白法人カヤック、株式会社アイサイト、株式会社アクティブティジャパン、株式会社アバンティ、株式会社エイジア、グリッドホールディングス株式会社、株式会社クレオ、株式会社ゴーゴーカレーグループ、株式会社社会起業大学、伸こう会株式会社、一般社団法人シングルマザー支援協会、一般社団法人ソーシャルビジネスドリームパートナーズ、株式会社大和システムクリート、株式会社日本テクノロジーベンチャーパートナーズ、凸版印刷株式会社、NEXT BLUE、株式会社ピーストラベルプロジェクト、株式会社ボードレス・ジャパン、マネックスベンチャーズ株式会社、ヤマサ醤油株式会社、株式会社レイメイ藤井

■協力団体:Nippon IT チャリティ駅伝実行委員会、スーパーマーケットトレードショー実行委員会、早稲田大学大隈塾、慶應大学 SFC、淑徳大学

■協力メディア:あさ出版、オルタナ、ターンズ

■場所協力:建長寺、HATSU 鎌倉

■ローカルサポーター:飯綱町役場農政課(長野県)、伊賀市観光戦略課(三重県)、(山梨県)市川三郷町役場 政策秘書課(群馬県)嬬恋村役場 総合政策課、小豆島二十四の瞳映画村(香川県)、能登町ふるさと振興課地域戦略推進室(石川県)、朝来市町(兵庫県)、与謝野町(京都府)

■運営:JAPAN CHALLENGER AWARD 事務局

(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)

## 書籍等の頒布事業

当期間は書籍制作期間でございます。2期目にあたる8月に発行することになりました。今後セミナーやアワード等で実施します。

## II.若者への支援事業(公益事業2)

### (1) 地方創生の普及啓発を行う事業

#### 1) 趣旨

現在の日本は、社会課題先進国と言われて久しく、人口減少、少子化、高齢化、地域の過疎化、自治体の財源難などの課題が深刻化している。このような社会状況を打開するためには、まず地方の活性化が重要であると考えます。

地方に目を向けたとき、地方創生の主役になるべきは、地元の若者をおいて他にはない。地元で育ち、地元で働く、起業するという事は、昔であればごく自然なことだったが、高度経済成長期からは、地方は工場誘致と一部観光地として栄え、地域の良さを意識している若者は都心に集中した。

しかし、地方には地産地消に加え、地産地商の原石が多数ある、それを現地の中・高生に知ってもらい、地元の良さを形にしたビジネスモデルを学んでもらう。「自分たちの力で地域を元気にしたい、元気にできる。」という意識を育み、醸成させ、地方創生につながるムーブメントを創出してゆく。

当期間では、コロナ禍での自粛期間でもあり、具体的な活動は実施していない。

#### 2) 事業の内容

(株)日本取引所グループが取組んでいる「起業体験プログラム」を採用し、中・高・大生を対象に、起業体験のセミナーを行う。当該セミナーで磨き上げたビジネスモデルは「中・高・大生:JAPAN CHALLENGER AWARD」を開催し発表する。公1の「全国大会:JAPAN CHALLENGER AWARD」の会場では、体験をしたビジネスモデルのブースを出展する。

#### 1. セミナー事業

セミナーは、中・高・大生を対象に、(株)日本取引所グループが取組んでいる「起業体験プログラム」を基に行う。

< 起業体験プログラムの流れ >

参加者は、チームでビジネスアイデアを考え、投資家に対してプレゼンテーションを行い、出資を受けて株式会社を作る。株式会社の経営者として、地域のお祭りや学園祭などを舞台に、来場しているお客様に向けて、模擬店のビジネスを行う。

販売活動の終了後は、決算書(貸借対照表と損益計算書)を作成し、監査を受ける。

株主総会で決算内容を発表し、税金を支払った後に株主に分配をして会社を解散する。

募集は、ホームページやチラシで広く公募した。

開催数は11回、のべ参加人数はのべ273名となった。詳細は以下の通り。

以上

# 第2期公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト事業報告書 (令和2年8月1日-令和3年7月31日)

## 理念

ミッション ---地域起業家をつくる

地域起業家が人気業種となり、地方創生事業が各地域で成功している。

ビジョン ---地方創生ベンチャーがITベンチャーと同様主流となる。

地域が社会課題と言われたことが、昔の話と言われる。

日本が、起業後進国から起業先進国へ仲間入りする。

バリュー ---地域起業家のプロデューサーとなる

地方創生事業にチャレンジする地域起業家の発掘、育成、発表、起業をトータルサポートする。

## KPI(2030年)

- ・地方創生事業モデルを100地域で、JAPAN CHALLENGER AWARD(SEMINAR)を開催する。
- ・地域起業家から10社新規上場企業に導く。
- ・大学、高校、中学校に「起業体験プログラム」を1000校に導入する。

上記、KPIに向けて、以下の活動を通じて進めてきた。いわゆる公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトの活動では、「地域で起業に挑戦する地方創生チャレンジャーの発掘、育成、発表、起業をトータルサポートしている。また、地域起業家向けに「JAPAN CHALLENGER AWARD」を運営し、ビジネスアイデアをビジネスモデルまで構築する実践型の東京証券取引所と連携したJPX起業体験プログラムを展開している。

対象者は、地域起業家、そして地方創生事業に関わるステークホルダー並びに地域の地元高校生などワカモノである。

また当団体の体制は、公益事業として、経営、金融、IT、観光など各専門のプロを理事として組成しており、実行部員は、これからの主役である「ワカモノ」で活動している。

## I. 普及啓発事業(公益事業1)

### (1) 地方創生の普及及啓発を行う事業

#### 1) 趣旨

現在の日本は、社会課題先進国と言われて久しく、人口減少、少子化、高齢化、地方の過疎化、自治体の財政難などが深刻化しており、主に以下の2点の課題がある。

- ・現状のような社会課題により、わが国では将来ビジョンが描きづらいこと
- ・学校教育において「事業」や「起業」、「仕事」に対する学びの場が著しく少ないこと

上記課題の解決策として、次の3つの段階が必要だと考える。

- ・ビジョンを持つこと
- ・そのビジョンを基に、実現のためのグランドデザインを描くこと
- ・起業家を、サポート、マネジメント、プロデュースする体制があること

当法人は、このような背景に鑑みて、社会の活性化を図るには、地域の活性化が重要であると考え、

改めて各地方の現状を検討した。現在の地方には地産地消に加えて、観光、ビジネス等の地産地商の原石がある。その原石である地域の起業家(当法人では「チャレンジャー」と呼ぶ。)が力を発揮し、描いた事業で地方を活性化してゆくために、当法人は「彼らをいかに磨き上げるか」が重要であると考え、そこで、上記解決策を念頭に、チャレンジャーに経営の「ミッション・ビジョン・戦略」を学んでもらい、彼らが見出したビジネスプランを起業する地域の人々に発表し、「共感・賛同・協力」を得られるような事業に育ててゆく。当法人は、このようなトータルな体制「発掘」「育成」「発表」「事業」を構築して地方創生に取り組むことが社会を豊かにすると考え実施してきた。

## 2) 事業の内容

現在の経済活動では、社会課題に取り組む事業と、顧客に感動や驚きの体験を与える事業が必要とされている。そこで、当法人では、社会課題解決事業と感動創造事業を融合した新しい事業アイデアを構築し、公民連携による地方創生事業に取り組む。

これまでも多くの起業家たちが、自分の事業モデルと目の前にある「問題」を結び付けてチャレンジをしてきたが、当法人では、起業家たちが挑戦できる環境を作り、育成、サポートすることで、「経済活性化」と「地域課題解決」を両立させ、持続可能な社会を作り出すことに寄与できると考える。

また、地域におけるプロジェクトの立案、計画、実施等を支援するために、そのプロジェクトメンバーの能力開発のためのセミナーを開催し、できる限り事業に関与するサポートを行う。本事業は、国、地方自治体や各種団体からの委託も受けることとする。

## 1.アワード事業

### ① 「いざ鎌倉！地方創生の祭典～JAPAN CHALLENGER AWARD2020 in 建長寺」

#### ■趣旨

地域の魅力化や課題をビジネスで解決する「ビジネスアイデア」を持った起業家たちと、その事業を応援したい地元企業とのマッチングを行うビジネスコンテスト型のイベントです。「ジャパンチャレンジャー」と呼ばれる挑戦者たちが、自らのビジネスプランを審査員やイベント参加者の前で発表し、グランプリを目指します。また、ジャパンチャレンジャーのプランを聞き、関心をもったサポート企業からは、出資や事業提携などのオファーがくることもあります。地域起業家を応援することはもちろん、さらには彼らジャパンチャレンジャーの熱い想いを聞いた参加者のみなさんが「地域を元気にしたい」という意識を持ち、地方創生のムーブメントを起こすことを目指しています。今まで、伊豆や銚子など様々な地域で開催しています。

■日時:2020年10月6日(火)10:00～17:00

■会場:建長寺(神奈川県鎌倉市山ノ内8)

#### ■コンテンツスケジュール

10:00-12:00 パネルディスカッション『得月楼』

12:00-12:45 昼食 『得月楼』

12:45-13:00 武田双雲氏の書道面白パフォーマンス『唐門』

13:00-15:35 いざ鎌倉！地方創生の祭典！JAPAN CHALLENGER AWARD 2020『方丈』

15:50-17:00 結果発表『法堂』

■参加費:(一般)セミナー・昼食:3000円、アワード:2000円(テキスト付)  
(学生)セミナー・昼食:2000円、アワード:1000円(テキスト付)

■主催:公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

■後援:内閣府地方創生推進事務局/経済産業省関東経済産業局/農林水産省/総務省/観光庁/

神奈川県/鎌倉市/日本取引所グループ

■サポーター:レオスキャピタルワークス株式会社、株式会社面白法人カヤック、株式会社アイサイト、株式会社アクティブティジャパン、株式会社アバンティ、株式会社エイジア、グリッドホールディングス株式会社、株式会社クレオ、株式会社ゴーゴーカーグループ、株式会社社会起業大学、伸こう会株式会社、一般社団法人シングルマザー支援協会、一般社団法人ソーシャルビジネスドリームパートナーズ、株式会社大和システムクリート、株式会社日本テクノロジーベンチャーパートナーズ、凸版印刷株式会社、NEXT BLUE、株式会社ピーストラベルプロジェクト、株式会社ボーダレス・ジャパン、マネックスベンチャーズ株式会社、ヤマサ醤油株式会社、株式会社レイメイ藤井

■協力団体:Nippon IT チャリティ駅伝実行委員会、スーパーマーケットトレードショー実行委員会、早稲田大学大隈塾、慶應大学 SFC、淑徳大学

■協力メディア:あさ出版、オルタナ、ターンズ

■場所協力:建長寺、HATSU 鎌倉

■ローカルサポーター:飯綱町役場農政課(長野県)、伊賀市観光戦略課(三重県)、(山梨県)市川三郷町役場 政策秘書課(群馬県) 嬭恋村役場 総合政策課、小豆島二十四の瞳映画村(香川県)、能登町ふるさと振興課地域戦略推進室(石川県)、朝来市町(兵庫県)、与謝野町(京都府)

### ■【チャレンジャー】

グランプリ ■■■■■さん

「アートとコスプレにより地域の魅力の掘り起こしと新たな魅力の想像を行う」

■■■■■さん

「日本全国の城郭を利用し日本及び海外の人々から注目される新たな日本の祭典を創出する」

■■■■■さん

「自社ブランド「やさいのキャンバス」を活用して幸せな朝食をデザインする」

■■■■■さん

「古くて新しい「かじやの窓口」を全国展開したい！」

■■■■■さん

「飲めば飲むほど、海がキレイになる」をコンセプトにしたクラフトビール醸造所」

■■■■■さん

「地域の手仕事をめぐる産業観光プラットフォーム」

■■■■■さん

「伊賀を元気に、日本を元気に！もっと忍者で楽しもう！次世代忍者スポーツ「e-Ninja」

実行委員長 ■■■■■ 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト会長  
(レオスキャピタルワークス株式会社 代表取締役)

審査委員長 ■■■■■ 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト副会長  
(面白法人カヤック 代表取締役 CEO)

### 【審査員】

・■■■■■ 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト理事  
(株式会社アバンティ 代表取締役会長)

・■■■■■ 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト顧問  
(株式会社日本テクノロジーベンチャーパートナーズ 代表)

・■■■■■氏(NEXTBLUE 代表パートナー)

・■■■■■氏(株式会社ボーダレス・ジャパン 代表取締役副会長)

・■■■■■氏(マネックスベンチャーズ株式会社 代表取締役)

・■■■■■氏(書道家)

【JAPAN CHALLENGER レジェンド(パネラー)】

■■■■さん 株式会社アクションパワー取締役会長

「地域課題である過疎地域の高齢者向けサポート事業」

■■■■さん KUMIKIPROJECT 株式会社代表取締役

「暮らしを手づくりする人の国産 DIY ブランドづくり」

■■■■さん 株式会社 KURABITOSTAY 代表取締役社長

「本格的な蔵人体験”英語同時通訳”ができる体験型宿泊事業を運営」

■■■■さん 株式会社百笑の暮らし代表取締役

「輪島で古民家レストランと農泊など里山まるごとホテル運営」

【司会】■■■■さん、アナウンサーの■■■■さん

【その他プログラム】

・オープニングアクト ■■■■さんによる書道パフォーマンス

・スペシャルゲスト登壇

■■■■さん（方丈のオープニング ゲスト出演）

ふあ〜みんず(IZU CHALLENGER AWARD 2020 高校生グランプリ)

## ②「いいづな事業チャレンジ」

【趣旨】起業などの新事業の創出をサポートする町のプログラムです。地域の未来を活性化するため、さまざまな取り組みが行われています。当日は選りすぐりのプレゼンターたちが、新しい事業プランを飯綱町の皆様の前で発表します。

発表された事業プランは、地域の企業や観客の皆様に応援表明していただいた上で、最終的に審査員の審査を受けてグランプリや準グランプリが選ばれます。受賞者には、チャレンジ支援金や事業のサポートの授与が予定されています。

【日時】2021年2月7日(日)13:00～16:00

【入場料】無料(関係者のみでの開催)

【参加者】100人

【会場】飯綱町民会館(長野上水内郡飯綱町大字牟礼 1989)

【主催】いいづなフューチャースクール(飯綱町) 公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

【協力】飯綱町商工会 株式会社カンマッセいいづな 株式会社サンクゼール 長野信用金庫株式会社八十二銀行 株式会社アバンティ 飯綱高原観光開発株式会社 有限会社飯綱町ふるさと振興公社 株式会社ツチクラ住建 長野国際カントリークラブ ながの農業協同組合飯綱支所 株式会社シンカ 凸版印刷株式会社 レオス・キャピタルワークス株式会社 株式会社カヤック ヤマサ醤油株式会社 株式会社ゴーゴーカレーグループ 株式会社レイメイ藤井 Hamee 株式会社 株式会社大和システムクリエート NIPPON IT チャリティ駅伝 株式会社アイサイト 株式会社エイジア 株式会社クレオ

【参加学校】北部高校2年生 ■■■■さん ■■■■さん

【チャレンジャー】

グランプリ ■■■■さん

「地主とソロキャンパーをつなぎ、山を元気に！『あの山、この山、プロジェクト』」

・準グランプリ ■■■■さん

「家族経営ワイナリーの設立～飯綱をワインの町に！～」

・■■■■さん

「ホビット村に見えた飯綱町でぴらていピラティス×空間ファンタジー」

・■■■■さん

「紙工房 職人主婦的な生き方」

・■■■■さん



「集まれ！農業未来プロジェクト」

- ・■■■■さん  
「馬とつながる、人とつながる 馬に学ぶマネジメント研修」

#### 【審査員】

- ・■■■■氏 株式会社サンクゼール常務取締役
- ・■■■■氏 株式会社アバンティ代表取締役
- ・■■■■氏 飯綱町長
- ・■■■■氏 株式会社 八十二銀行 調査役
- ・■■■■氏 長野信用金庫主任調査役

【司会】■■■■さん ■■■■さん(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)

#### 【その他プログラム】

- ・東京証券取引所と開催する企画「起業体験プログラム」に参加された高校生2名による事業プランの発表 北部高校 2年生 ■■■■さん、■■■■さん
- ・昨年度チャレンジャー全員からの活動報告  
■■■■さん ■■■■さん ■■■■さん ■■■■さん ■■■■さん ■■■■さん

### ③JAPAN CHALLENGER AWARD in 輪島

【趣旨】地域の課題をビジネスで解決する「ビジネスアイデア」を持った起業家たちと、その事業を応援したい地元企業とのマッチングを行うビジネスコンテスト型のイベントです。「チャレンジャー」と呼ばれる挑戦者たちが、自らのビジネスプランを審査員やイベント参加者の前で発表し、グランプリを目指します。また、チャレンジャーのプランを聞き、関心をもったサポート企業からは、出資や事業提携などのオファーがくることもあります。地域起業家を応援することはもちろん、さらには彼らチャレンジャーの熱い想いを聞いた参加者のみなさんが「地域を元気にしたい」という意識を持ち、地方創生のムーブメントを起こすことを目指しています。

【日時】2021年3月1日(月)14:00～16:00

【入場料】無料(関係者のみでの開催)

【参加者】一般参加なし(関係者 25名)

【会場】輪島市文化会館301会議室(石川県輪島市河井町 20-1-1)

【主催】JAPAN CHALLENGER AWARD in 輪島実行委員会(輪島市、輪島商工会議所、門前町商工会、株式会社北國銀行輪島支店、株式会社北陸銀行輪島支店、のと協栄信用金庫輪島支店、興能信用金庫地域支援部、公益財団法人石川県産業創出支援機構)

【協力】株式会社奥能登元気プロジェクト、Cafebar Agradito 興能信用金庫地域支援部、佐々木健仁様、株式会社田谷漆器店、のと共栄信用金庫輪島支店 はる喜クリーニング株式会社、酒ブティックおくだ様、株式会社北國銀行輪島支店、有限会社丸二印刷、三辻商店、株式会社百笑の暮らし、株式会社北陸銀行、株式会社御祓川、ワールドエコロジー株式会社、株式会社輪島丸善、レオス・キャピタルワークス、面白法人カヤック、ヤマサ醤油株式会社、(株)ゴーゴーカレー株式会社レイメイ藤井、Hamee 株式会社、株式会社大和システム、日本 IT チャリティ駅伝、株式会社アイサイト、株式会社エイジア、株式会社クレオ(敬称略)

#### 【チャレンジャー】

- ・グランプリ ■■■■さん  
「古くて新しい「かじやの窓口」を全国展開したい！」
- ・準グランプリ ■■■■さん  
「輪島の漆と長年培われた輪島の漆の技術を使ったアクセサリーづくり」
- ・■■■■さん

「地域全体で楽しく、健康に長生きをしましょう！」

・さん

「元気に長生き！輪島健康サポートプロジェクト」

・さん

(審査対象外)「自然の恵みを活かし能登の人と里山を元気にする町野川再生プロジェクト」

#### 【審査員】

・氏 輪島商工会議所 会頭

・氏 門前町商工会 会長

・氏 公財)石川県産業創出支援機構 経営支援部 新事業支援課長

・氏 株式会社御祓川 代表取締役

【司会】さん さん(公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト)

#### 【その他プログラム】

■登壇

さん(株式会社百笑の暮らし)

### ④瀬戸内チャレンジャーAWARD

【趣旨】公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクトが、地方で起業に挑戦する地方創生起業家(地方創生チャレンジャー)の発掘、育成を目指し、発表の場として日本各地で開催しているビジネスプランコンテスト「JAPAN CHALLENGER AWARD」その地方版として、香川・瀬戸内で活動する起業家等を対象にしたビジネスプランコンテストとビジネスマッチングイベントが「瀬戸内チャレンジャーアワード」です。最終発表会では7組のファイナリストが、地域課題をビジネスで解決するアイデアを発表し、審査員と会場参加されたサポーター企業による投票によりグランプリを決定します。

【日時】2021年3月20日(土)14:00~16:30

【入場料】無料

【参加者】会場10社20名+オンライン配信

【会場】情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)5階 BBスクエア

【主催】香川県

#### 【チャレンジャー】

グランプリ さん 会社 DaRETO 代表

「全力で遊ぶ！正解がない時代に新しいものを生み出す力を育む『島遊び』プログラム」

準グランプリ さん 香川県立高松東高等学校1年生

「色覚特性を“個性”だとみんなが堂々と言える世界を目指した「ものさし型めがね」の販売」

・さん 香川大学経済学部

「新しい旅のプラットフォームサービスで、世界に誇る瀬戸内の観光を活性化する！」

・久保 みどりさん はなはな\*みかん代表

「はないろキッズがのびのび成長できるよう子どものストレスを見える化&理解するシステムを開発したい！」

・さん 投資家兼事業家

「コロナで苦しむ飲食店を救いたい！WEB化は無料、消費者行動のデジタルマーケティングを成果報酬制で提案！」

・さん / さん

「企業価値の情報発信と転職体験プログラムにより採用のミスマッチを解決するプラットフォーム「トライス」」

・■■■■さん Estify Consultants OÜ 代表

「VR/ARを使うバーチャル言語学習体験『身体を使った新しい学問』」

#### 【審査員】

■■■■氏 百十四銀行株式会社地方創生部長

■■■■氏 プロコスプレイヤー

■■■■氏 香川大学大学院地域マネジメント研究科教授／研究科長

■■■■氏 株式会社アムロン代表取締役会長・CEO

■■■■氏 香川県政策部次長

#### 【司会】

■■■■さん Setouchi-i-Base コーディネーター

■■■■さん 小顔すぎるうどん県ナレーター

#### 【その他プログラム】

・ジャパンチャレンジャーアワード初代グランプリのコミアキラさんにご登壇いただきました。

### ⑤岩手町 SDGs 未来都市共創プロジェクト～起業支援プログラム「志塾」 発表会

#### 【趣旨】

志塾 ビジネスモデル講義 および参加者を中心にビジネスモデルづくりを行うと共に、岩手町で起業することを想定した 事業プランとプレゼン手法を磨く。

【日時】2021年3月13日(日)13:30～16:00

【入場料】無料

【参加者】20人

【会場】岩手町広域交流センタープラザあい(岩手県岩手郡岩手町江刈内第6地割1-4)

【運営】株式会社シンカ、公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

【メンター】■■■■氏(zoom)■■■■氏(zoom)■■■■氏

■■■■町長 ■■■■副町長

#### 【チャレンジャー】

1■■■■さん コミュニティデザインで多様な世界をつくる

2■■■■さん 古民家ゲストハウスをやりたい

3■■■■さん 不妊で悩む女性をゼロに～岩手町を五感で味わう女性力アップ合宿～

4■■■■さん すべてのカップルが 写真撮影を楽しめる町 いわてまちのカップルが 写真撮影を楽しめる町 いわてまち

5■■■■さん 岩手町産サプリメント開発

6■■■■さん 蔵カフェ「くらっふえ」～蔵の中で楽しめるお食事の店

7■■■■さん 木工を夢のある仕事に、地域材活用で町づくりに参加する

8■■■■さん おもいでフィルム

9■■■■さん 遊山 岩手町

10■■■■さん いわてまちワーケーション基地プロジェクト

11■■■■さん 岩手町の森林(里山)、畑、空き屋に、自分の強みのガーデンを掛け合わせた『小山沢焚き火ガーデン』

#### 【その他プログラム】

SDGs 未来都市創造フォーラム

2021年3月28日(日) 14:00~17:00

1部 ■■■■■ 講演「鎌倉資本主義から読み解く地域の未来とは？」

2部 ■■■■■ 町長との対談。ファシリテーター■■■■■「未来都市 岩手町はどう変わる？」

50名の町民が、グループで岩手町のこれからについてなど積極的に参加

## 1. セミナー事業

セミナーは、対象を一般向けと、「JAPAN CHALLENGER AWARD」のチャレンジャー向けとに分けて開催する。募集は、ホームページやチラシで広く公募し、セミナーは、ローカルビジネスについて、起業するためのミッション、ビジョン、戦略立案などに関する内容で開催する。講師は各界の専門家で構成した。

### ① 一般向けセミナー

地域起業家や地域住民、またその地域で起業したい方々向けに、自治体での広報活動、地元商工会議所の既存プログラムと連携しながら、「起業に向けたビジネスモデルの構築の仕方」「事業予算・事業計画の立て方、企画書の書き方」「収益モデル」の勉強会を行った。

主任講師に代表理事が行い、ゲスト講師として理事や JAPAN CHALLENGER レジェンド(地域起業家)を招いて開催した。

開催数は20回、のべ参加人数はのべ258名となった。詳細は以下の通り。

### ① 岩手町(岩手県) 開催数4回のべ9名参加

2021年1月31日(日)(zoom)岩手町起業セミナー 講師 代表理事 ■■■■■

2月13日(土)(zoom)岩手町事業計画ゼミ 5名、2月21日(日) 3名

2月22日(月)3名 講師 代表理事 ■■■■■

### ② 飯綱町(長野県) 開催数2回 のべ6名参加

2020年12月12日(土)、13日(日)いっぴな EAST コネクトチャレンジラボ

いっぴな事業計画ゼミ 6名 講師 代表理事 ■■■■■、株式会社シンカ ■■■■■

### ③ 輪島市(石川県)開催5数回

2021年2月18日(木) 谷遼典/中川直洋 個別事業プランコンサルティング/2月18日(木) ■■■■■

■■■■■/■■■■■ 個別事業プランコンサルティング/2月19日(金) ■■■■■ 個別事業

プランコンサルティング/2月20日(土) ■■■■■ 個別事業プランコンサルティング/2

月26日(金) ■■■■■ 個別事業プランコンサルティング

### ● 瀬戸内(香川県)開催数7回

2020年12月16日(水)情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)5階 BB スクエア

事前セミナー&アワード説明会 会場 12名+オンライン配信 講師 代表理事 ■■■■■

2021年1月23日(土)Setouchi-i-Base TV 会議室から参加もしくは 遠隔地よりオンライン参加 チャレンジャー向けセミナー 講師 代表理事 ■■■■■

個別ブラッシュアップ オンライン 2021年2月11日(木)、2月18日(木)、2月19日(金)、2月20日(土)、2月21日(日)

7名講師 代表理事

### ●鎌倉市(神奈川県)開催数 10回

2020年8月22日(土)「HATSU」事前セミナー 7名 講師 面白法人カヤックの氏 レオスキャピタルワークスの氏

2020年9月4日(金).5日(土).7日(月).9日(水).10日(木).25日(金)

28日(月).29日(火).30日(水) zoom 個別セミナー講師 代表理事

### 書籍等の頒布事業

当期間は書籍制作期間でございます。2期目にあたる8月に発行することになりました。今後セミナーやアワード等で実施します。

## II.若者への支援事業(公益事業2)

### (1) 地方創生の普及及啓発を行う事業

#### 1) 趣旨

現在の日本は、社会課題先進国と言われて久しく、人口減少、少子化、高齢化、地域の過疎化、自治体の財源難などの課題が深刻化している。このような社会状況を打開するためには、まず地方の活性化が重要であると考えます。

地方に目を向けたとき、地方創生の主役になるべきは、地元の若者をおいて他にはない。地元で育ち、地元で働く、起業するということが、昔であればごく自然なことだったが、高度経済成長期からは、地方は工場誘致と一部観光地として栄え、地域の良さを意識している若者は都心に集中した。

しかし、地方には地産地消に加え、地産地商の原石が多数ある、それを現地の中高生に知ってもらい、地元の良さを形にしたビジネスモデルを学んでもらう。「自分たちの力で地域を元気にしたい、元気にできる。」という意識を育み、醸成させ、地方創生につながるムーブメントを創出してゆく。

当期間では、コロナ禍での自粛期間でもあり、具体的な活動は実施していない。

#### 2) 事業の内容

㈱日本取引所グループが取り組んでいる「起業体験プログラム」を採用し、中・高・大生を対象に、起業体験のセミナーを行う。当該セミナーで磨き上げたビジネスモデルは「中・高・大生:JAPAN CHALLENGER AWARD」を開催し発表する。公1の「全国大会:JAPAN CHALLENGER AWARD」の会場では、体験したビジネスモデルのブースを出展する。

## 1. アワード(発表)事業

### ① JAPAN CHALLENGER AWARD for youth in 関西

- 日時:2021年5月29日(土曜日)13:00~16:00(15:00~16:00は交流会)
- 場所: Impact Hub Kyoto(住所) 京都府京都市上京区甲斐守町97
- 規模: 40名(学生30名・社会人10名) ※Youtubeを活用したオンライン配信を実施。
- 参加:40名(学生30名+協賛企業、パーフォーマー・プレゼンター4名)
- 主催:公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト
- 協力:Oriai inc. / Impact Hub Kyoto
- 協賛: 類設計室・(株)リンクアンドモチベーション
- 内容:・学生に4名による夢のプレゼンテーション・京丹後の高校生による発表 社会人を含む学生交流会

#### 【チャレンジャー】

■さん(グランプリ) 京都産業大学3年生

「兵庫県淡路島出身で、京都大学地方創生団体 S3 の現代表。淡路島にてゲストハウスの運営や地域の人との交流ができるプラットフォームを作っている。」

■さん 大阪市立大学院生

「日本の伝統文化継承不足を課題に外国人留学生とのマッチングサービスを構想。オンライン上で完結するB2Cモデルで留学生が日本文化に触れる機会を提供する。」

■さん 神戸大学3年生

「家庭での原体験を元に教育分野に関心を持ち、中高生向け起業家教育スクールの設立を目指し活動中。」

■さん 大和大学4年生

「ダンサーの収益化が日本ではまた難しいことに課題を感じ、ダンススタジオを一括で比較できるサービスの立ち上げ中。自身でもダンススクールを開設する予定で、クラウドファンディングも実施している。」

#### 【審査員】

審査委員長 ■氏 株式会社類設計室

審査員 ■氏 株式会社 taliki ■氏 Impact Hub Kyoto

■氏 NEWRON 株式会社

### ② JAPAN CHALLENGER AWARD in 大熊町

■内容: おおくまハチドリプロジェクトは今年から新たに始まった全国の学生による大熊町の発展のための企画立案プロジェクトです。事前勉強会、現地見学会の2回の学びをもとにチームごとに自分たちの強みを生かした立案を行い、最終的に企画発表会にて町役場・関係者の皆様の前で発表を行います。東日本大震災から10年目の節目に、当時小学生だった学生たちが改めてその歴史を振り返り、新たな角度から未来を見据え、知を集結してアイデアを提案することで、大熊町に対する若者の深い理解と関係人口の創出、また発展のきっかけとなることを目指します。

■日時:2021年3月5日(金曜日)13:00~16:15

■場所: 大熊町役場 大会議室、多目的ホール  
福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平 1717

■規模: 約45名

■参加: チャレンジャー (大会議室 8名、多目的ホール6名)

■参加費: 無料

■主催: 株式会社 Oriai(プロジェクト全体)

公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト

■協力:、大熊町役場



■#(ハッシュタグ) 熊ジョブ

メンバー: [REDACTED]

バイターン制度を活用した新しい人材マッチング

■未来の大熊町を想像×創造しよう

メンバー: [REDACTED]

植樹を通して観光から定住につなげる親子ツアー

■アートプロジェクト大熊

メンバー: [REDACTED]

復興公園と大熊ならではの芸術祭でアートの町に

■アウトドアスポーツでフレッシュに

メンバー: [REDACTED]

町民の健康とコミュニティ作りをスポーツで推進

【審査員】

大会議室

- ・副町長: [REDACTED] 氏
- ・企画課長: [REDACTED] 氏
- ・ネクサスファームおおくま工場長: [REDACTED] 氏
- ・公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 理事: [REDACTED]

多目的ホール

- ・保険福祉課長: [REDACTED] 氏
- ・生活支援課長: [REDACTED] 氏
- ・総務課秘書広報係長: [REDACTED] 氏
- ・公益社団法人ジャパンチャレンジャープロジェクト 代表理事: [REDACTED]

## 1. セミナー事業

セミナーは、中・高・大生を対象に、(株)日本取引所グループが取組んでいる「起業体験プログラム」を基に行う。

<起業体験プログラムの流れ>

参加者は、チームでビジネスアイデアを考え、投資家に対してプレゼンテーションを行い、出資を受けて株式会社を作る。株式会社の経営者として、地域のお祭りや学園祭などを舞台に、来場しているお客様に向けて、模擬店のビジネスを行う。

販売活動の終了後は、決算書(貸借対照表と損益計算書)を作成し、監査を受ける。

株主総会で決算内容を発表し、税金を支払った後に株主に分配をして会社を解散する。

募集は、ホームページやチラシで広く公募した。

開催数は11回、のべ参加人数はのべ273名となった。詳細は以下の通り。

●大熊町(福島県)

◆事前勉強会 Aグループ2021年1月22日(金)18名 Bグループ1月25日(月)17名、Cグループ1月27日(水)21名 企画調整課の [REDACTED] 主事、 [REDACTED] 課長補佐とオンラインにて



- ◆現地見学会 Aグループ2月13日(土)19名、Bグループ2月12日(金)16名、Cグループ2月9日(火)20名 訪問場所: ①ヒラメ養殖場 ②サンライトおおくま(駐車場より福島第一原子力発電所を見学) ③国道6号線沿いの中間貯蔵施設と街並み ④大野駅周辺の商店街と街並み ⑤大野小学校企画調整課の■■■■課長補佐と■■■■主事の説明を受ける。
- ◆質問会 2月20日(土)、2月22日(月)のどちらか参加 オンラインにて各チームより1~2名 ■■■■主事と■■■■課長補佐より回答
- ◆ブラッシュアップセミナー Aグループ2月23日(火)Bグループ2月23日(火)、Cグループ2月24日(水)講師 代表理事 ■■■■

#### 高校生向けセミナー

- 一宮商業高校企業体験プログラム(愛知県)  
・開催:4回予定 2021年5月12日(水)、6月15日(火)、7月13日(火)、残り1回 12名 講師 ■■■■
- 沼宮内高校企業体験プログラム(岩手県)  
開催:4回 2021年7月14日(水)、8月25日(水)、9月15日(水)、9月29日(水)、10月27日(水)42名  
講師 ■■■■
- 清新高校企業体験プログラム(京都府)  
・開催:4回予定 2021年6月15日(火)、6月29日(火)、残り2回)6名 講師 ■■■■
- 網野高校セミナー(京都府)  
京丹後市の観光と宿泊プランの造成 開催1回 2021年5月17日(月)23名  
講師 ■■■■
- 峰山高校地域交流会(京都府)  
社会人講師の経験シェア  
開催1回 2021年5月28日(金)参加人数:確認中 講師 ■■■■

以上